

産業医制度の充実にに向けた労働安全衛生規則等の改正 新旧対照表

改正前 (旧)	改正後 (新) (改正部分)
労働安全衛生規則	
<p>(産業医の定期巡視及び権限の付与)</p> <p>第十五条 産業医は、少なくとも毎月一回、作業場等を巡視し、作業方法又は衛生状態に有害のおそれがあるときは、直ちに、労働者の健康障害を防止するため必要な措置を講じなければならない。</p> <p>2 事業者は、産業医に対し、前条第一項に規定する事項をなし得る権限を与えなければならない。</p> <p>(健康診断の結果についての医師等からの意見聴取)</p> <p>第五十一条の二 第四十三条等の健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師又は歯科医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。</p>	<p>(産業医の定期巡視及び権限の付与)</p> <p>第十五条 産業医は、少なくとも毎月一回<u>(産業医が、事業者から、毎月一回以上、次に掲げる情報の提供を受けている場合であって、事業者の同意を得ているときは、少なくとも二月に一回)</u>作業場等を巡視し、作業方法又は衛生状態に有害のおそれがあるときは、直ちに、労働者の健康障害を防止するため必要な措置を講じなければならない。</p> <p>一 <u>第十一条第一項の規定により衛生管理者が行う巡視の結果</u></p> <p>二 <u>前号に掲げるもののほか、労働者の健康障害を防止し、又は労働者の健康を保持するために必要な情報であって、衛生委員会又は安全衛生委員会における調査審議を経て事業者が産業医に提供することとしたもの</u></p> <p>2 事業者は、産業医に対し、前条第一項に規定する事項をなし得る権限を与えなければならない。</p> <p>(健康診断の結果についての医師等からの意見聴取)</p> <p>第五十一条の二 第四十三条等の健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師又は歯科医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。</p>

一 第四十三条等の健康診断が行われた日(法第六十六条第五項ただし書の場合にあっては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日)から三月以内に行うこと。

二 聴取した医師又は歯科医師の意見を健康診断個人票に記載すること。

2 法第六十六条の二の自ら受けた健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次の定めるところにより行わなければならない。

一 当該健康診断の結果を証明する書面が事業者に提出された日から二月以内に行うこと。

二 聴取した医師の意見を健康診断個人票に記載すること。

(面接指導の対象となる労働者の要件等)

第五十二条の二 法第六十六条の八第一項の厚生労働省令で定める要件は、休憩時間を除き一週間当たり 四十時間を超えて労働させた場合におけるその超えた時間が一月当たり百時間を超え、かつ、疲労の蓄積が認められる者であることとする。ただし、次項の期日前一月以内に法第六十六条の八第一項に規定する面接指導(以下この節において「面接指導」という)を受けた労働者その他これに類する労働者であって面接指導を受ける必要がないと医師が認めたものを除く。

2 前項の超えた時間の算定は、毎月一回以上、一定の期日を定めて行わなければならない。

一 第四十三条等の健康診断が行われた日(法第六十六条第五項ただし書の場合にあっては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日)から三月以内に行うこと。

二 聴取した医師又は歯科医師の意見を健康診断個人票に記載すること。

2 法第六十六条の二の自ら受けた健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次の定めるところにより行わなければならない。

一 当該健康診断の結果を証明する書面が事業者に提出された日から二月以内に行うこと。

二 聴取した医師の意見を健康診断個人票に記載すること。

3 事業者は、医師又は歯科医師から、前二項の意見聴取を行う上で必要となる労働者の業務に関する情報を求められたときは、速やかに、これを提供しなければならない。

(面接指導の対象となる労働者の要件等)

第五十二条の二 法第六十六条の八第一項の厚生労働省令で定める要件は、休憩時間を除き一週間当たり 四十時間を超えて労働させた場合におけるその超えた時間が一月当たり百時間を超え、かつ、疲労の蓄積が認められる者であることとする。ただし、次項の期日前一月以内に法第六十六条の八第一項に規定する面接指導(以下この節において「面接指導」という)を受けた労働者その他これに類する労働者であって面接指導を受ける必要がないと医師が認めたものを除く。

2 前項の超えた時間の算定は、毎月一回以上、一定の期日を定めて行わなければならない。

	<p>3 事業者は、第1項の超えた時間の算定を行つたときは速やかに、同項の超えた時間が一月当たり百時間を超えた労働者の氏名及び当該労働者に係る超えた時間に関する情報を産業医に提供しなければならない。</p>
<p>有機溶剤中毒予防規則</p>	
<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取) 第三十条の二 有機溶剤等健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。 一 有機溶剤等健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあつては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。 二 聴取した医師の意見を有機溶剤等健康診断個人票に記載すること。</p>	<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取) 第三十条の二 有機溶剤等健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。 一 有機溶剤等健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあつては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。 二 聴取した医師の意見を有機溶剤等健康診断個人票に記載すること。 <u>2 事業者は、医師から、前項の意見聴取を行う上で必要となる労働者の業務に関する情報を求められたときは、速やかに、これを提供しなければならない。</u></p>
<p>鉛中毒予防規則</p>	
<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取) 第五十四条の二 鉛健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。 一 鉛健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあつては、当該労働者が健康診断の</p>	<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取) 第五十四条の二 鉛健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。 一 鉛健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあつては、当該労働者が健康診断の</p>

<p>結果を証明する書面を事業者に提出した日) から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を鉛健康診断個人票に記載すること。</p>	<p>結果を証明する書面を事業者に提出した日) から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を鉛健康診断個人票に記載すること。</p> <p><u>2 事業者は、医師から、前項の意見聴取を行う上で必要となる労働者の業務に関する情報を求められたときは、速やかに、これを提供しなければならない。</u></p>
<p>四 アルキル鉛中毒予防規則</p>	
<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取)</p> <p>第二十三条の二 四アルキル鉛健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 四アルキル鉛健康診断が行われた日(法第六十六条第五項ただし書の場合にあつては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日) から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を四アルキル鉛健康診断個人票に記載すること。</p>	<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取)</p> <p>第二十三条の二 四アルキル鉛健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 四アルキル鉛健康診断が行われた日(法第六十六条第五項ただし書の場合にあつては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日) から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を四アルキル鉛健康診断個人票に記載すること。</p> <p><u>2 事業者は、医師から、前項の意見聴取を行う上で必要となる労働者の業務に関する情報を求められたときは、速やかに、これを提供しなければならない。</u></p>
<p>特定化学物質障害予防規則</p>	
<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取)</p> <p>第四十条の二 特定化学物質健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定</p>	<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取)</p> <p>第四十条の二 特定化学物質健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定</p>

<p>めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 特定化学物質健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあつては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を特定化学物質健康診断個人票に記載すること。</p>	<p>めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 特定化学物質健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあつては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を特定化学物質健康診断個人票に記載すること。</p> <p><u>2 事業者は、医師から、前項の意見聴取を行う上で必要となる労働者の業務に関する情報を求められたときは、速やかに、これを提供しなければならない。</u></p>
---	---

高 気 圧 作 業 安 全 衛 生 規 則

<p>（健康診断の結果についての医師からの意見聴取）</p> <p>第三十九条の二 高気圧業務健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 高気圧業務健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあつては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を高気圧業務健康診断個人票に記載すること。</p>	<p>（健康診断の結果についての医師からの意見聴取）</p> <p>第三十九条の二 高気圧業務健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 高気圧業務健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあつては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を高気圧業務健康診断個人票に記載すること。</p> <p><u>2 事業者は、医師から、前項の意見聴取を行う上で必要となる労働者の業務に関する情報を求められたときは、速やかに、これを提供しなければならない。</u></p>
---	---

電 離 放 射 線 障 害 防 止 規 則

--	--

<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取)</p> <p>第五十七条の二 電離放射線健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 電離放射線健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあっては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を電離放射線健康診断個人票に記載すること。</p> <p>2 緊急時電離放射線健康診断(離職する際に行わなければならないものを除く。)の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 緊急時電離放射線健康診断が行われた後(法第六十六条第五項ただし書の場合にあっては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した後)速やかに行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を緊急時電離放射線健康診断個人票に記載すること。</p>	<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取)</p> <p>第五十七条の二 電離放射線健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 電離放射線健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあっては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を電離放射線健康診断個人票に記載すること。</p> <p>2 緊急時電離放射線健康診断(離職する際に行わなければならないものを除く。)の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 緊急時電離放射線健康診断が行われた後(法第六十六条第五項ただし書の場合にあっては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した後)速やかに行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を緊急時電離放射線健康診断個人票に記載すること。</p> <p><u>3 事業者は、医師から、前二項の意見聴取を行う上で必要となる労働者の業務に関する情報を求められたときは、速やかに、これを提供しなければならない。</u></p>
<p>石 綿 障 害 予 防 規 則</p>	
<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取)</p> <p>第四十二条 石綿健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところ</p>	<p>(健康診断の結果についての医師からの意見聴取)</p> <p>第四十二条 石綿健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次に定めるところ</p>

<p>により行わなければならない。</p> <p>一 石綿健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあっては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を石綿健康診断個人票に記載すること。</p>	<p>により行わなければならない。</p> <p>一 石綿健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあっては、当該労働者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を石綿健康診断個人票に記載すること。</p> <p><u>2 事業者は、医師から、前項の意見聴取を行う上で必要となる労働者の業務に関する情報を求められたときは、速やかに、これを提供しなければならない。</u></p>
--	--

東日本大震災により生じた放射性物質により汚染された土壌等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則

<p>（健康診断の結果についての医師からの意見聴取）</p> <p>第二十二条 除染等電離放射線健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次の各号に定めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 除染等電離放射線健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあっては、当該除染等業務従事者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を除染等電離放射線健康診断個人票に記載すること。</p>	<p>（健康診断の結果についての医師からの意見聴取）</p> <p>第二十二条 除染等電離放射線健康診断の結果に基づく法第六十六条の四の規定による医師からの意見聴取は、次の各号に定めるところにより行わなければならない。</p> <p>一 除染等電離放射線健康診断が行われた日（法第六十六条第五項ただし書の場合にあっては、当該除染等業務従事者が健康診断の結果を証明する書面を事業者に提出した日）から三月以内に行うこと。</p> <p>二 聴取した医師の意見を除染等電離放射線健康診断個人票に記載すること。</p> <p><u>2 事業者は、医師から、前項の意見聴取を行う上で必要となる労働者の業務に関する情報を求められたときは、速やかに、これを提供しなければならない。</u></p>
---	---

